

学科名	電気通信工学科							
科目名	電子情報工学セミナー							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	必修科目							
担当者	牟田 浩司, 原谷 直実, 今宿 互							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚化の技法を学んで分かりやすく提示できる。(C8) ・技術企画に関する文書を作成できる。(C8) ・実施したテーマについてチームで内容を議論して、その内容をプレゼンテーションできる。(C8) ・技術や社会、企業に関する動向を調査し、その結果をまとめてプレゼンテーションできる。(C5) ・企業の業務内容や業務形態の概要を理解するとともに、技術者の責任や影響を説明できる。(C5) ・卒業後、自立した技術者となるための自己啓発プログラムを作成できる。(C5) 							
日程と内容	第1回 導入講義; 授業の進め方と概要の説明、成績評価法、情報通信の歴史と目的 第2回 技術企画に関する文書作成(1) 第3回 技術企画に関する文書作成(2) 第4回 技術企画に関する文書作成(3) 第5回 製作品のプレゼンテーション準備(1) 第6回 製作品のプレゼンテーション準備(2) 第7回 製作品のプレゼンテーション 第8回 国内外技術動向と技術開発の最前線(1) 第9回 国内外技術動向と技術開発の最前線(2) 第10回 国内外技術動向と企業研究 第11回 企業環境と自己表現法(1): エントリーシート作成 第12回 企業環境と自己表現法(2): エントリーシート作成 第13回 口頭試問および面接(1) 第14回 口頭試問および面接(2) 第15回 総合演習							
成績評価基準	定期試験	0%	実技	20%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション	30%	課題	20%	計	100%
	演習	20%						
授業到達目標の達成度	授業到達目標はほぼ達成することができた。							
反省点	後半の就職活動に直結したエントリーシートや履歴書の作成において、予習(準備)してこない学生が多く見られ、授業中に終わらず、結果提出期限を守らないケースが目立ったこと。主な原因は、自己分析や企業研究が不十分であることであった。							
来年度の計画	授業内容の大きな変更は無いが、前期のホームルームで自己分析や企業研究をしっかり行わせ、後半のエントリーシートや履歴書の作成を効率的に行わせるように指導する。							
授業評価アンケートに対するコメント	授業科目でなく、就職活動に役立つ内容を取り扱っていることから、例年総合評価は高めであったが、今年度は総合評価は8.0点と微妙な評価であった。学生の評価を参考に、全体的に改善していきたい。							
履修登録者数	63名	定期試験 受験者数	63名	合格者数	62名	合格率	98%	